

科目名	文化理解		
曜日・講時	金曜5限	教室	川北キャンパス A 3 0 6
科目群	全学教育科目先進科目－国際教育		
単位数	2.0単位		
対象学部	全		
担当教員（所属）	小泉 政利、松崎 丈 所属：文学研究科		
開講期	1/3/5/7セメスター		
科目ナンバリング	ZAC-GLB804J		
使用言語	日本語		
メディア授業科目			
主要授業科目	各学部の履修内規または学生便覧を参照。		
授業題目	【国際共修】言語としての手話入門 [Introduction to Japan Sign Language]		
授業の目的と概要	「日本手話」の言語学的構造（例えば文法）を理解し、それを用いる人々の生活や文化を映像資料をもとに学ぶ。 [In this course, students will understand the linguistic (i.e. grammatical) structure of Japan sign language and learn about signer's culture and lifestyles, based on historical background, using video materials.]		
学習の到達目標	この授業では、終了時に学生が以下の能力を身につけていることを目標とする。 ・日本手話の言語学的構造を知っている。 ・日本手話で日常会話を話せる。 ・日本手話を用いる人々の生活や文化を説明できる。 [By the end of the course, students should be able to do the following: ・Recognize the linguistic structure of Japan sign language. ・Sign daily conversation. ・Describe signer's culture and lifestyles.]		
授業内容・方法と進度予定	内容及び進度予定は以下のとおりである。 1. イン트로ダクション 2. あいさつ・自己紹介 3. 年月日－誕生日－ 4. 趣味 5. 出身地 6. 家族 7. 時間 8. 旅行－海外－ 9. 学生生活 (1)－学部－ 10. 学生生活 (2)－サークル－ 11. 学生生活 (3)－通学・アルバイト等－ 12. 食べ物 13. 休日 14. 最終試験に向けた復習 15. 復習と最終試験 講義とミニットペーパーを用いた質疑応答を中心とした授業とする。毎回の授業開始前に、前回の授業内容に関する復習課題を行う。 The contents and schedule are as shown below: 1. Introduction 2. Greetings・Self-introduction 3. The Date 5. Hobby 4. Birthplace 6. Family 7. Time 8. Travel 9. College Life (1) 10. College Life (2) 11. College Life (3) 12. Food 13. Holiday 14. Exercise for the final exam. 15. Review and Final Exam This course is centered on a lecture and a questions and answers session using the Minute Paper. At the beginning of each class, the contents of the previous class are reviewed.		

成績評価方法		授業への取り組み 40%、出席 30%、最終試験 30% Class participation 40%, attendance 30%, final examination 30%			
教科書および参考書					
書名	著者名	出版社	出版年	ISBN/ISSN	資料種別
関連URL					
授業時間外学習	授業時間は限られているので、自主学習が重要になる。復習を必ず行うようにすること。 [The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to review for each class.]				
実務・実践的授業 ※○ は、実務・実践的授業であることを示す。					
授業へのパソコン持ち込み 【必要/不要】	パソコン持ち込み不要 [No]				
連絡先（メールアドレス等）	全学教育HP掲載の「全学教育科目授業担当教員連絡先一覧」を参照。				
その他	定員は20名までとする。希望者が多い場合は、抽選を行う。 [The maximum number of participants for this course is 20. If there are more applicants than places, participants will be selected by lottery.]				
更新日付	2025/01/14(火)				

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間です。